

平成 25 年 3 月 16 日
北関東フォーラム
於：シムックス

中齋塾 北関東フォーラム 平成 25 年度第 2 回

今、アベノミクスという呼び方で安倍内閣は物価上昇率 2% という目標を打ち出しています。インフレターゲットとは、デフレが酷いからインフレにしましょうということです。値上げラッシュを国が指導していけば、各自治体も企業もお給料を上げざるを得ない。結果的に給料が上がる。なかなか新聞では言いませんが、アベノミクスによって給料がかさ上げされて、実際に国民の懐が豊かになるのは、2 年後から 3 年後だと政府は考えていると思います。今は騙しのテクニックを使っている。今年の秋に消費税を上げるには、皆が景気が良くなったと実感しなければならぬから、見せかけの好況を作ろうとしていると私は思っています。

恒例の質問

○ 昨日一日、嘘をつかなかった方？

手が拳がらなかった方がいました。商売をしていく時に、嘘をつく会社は曲がっていきます。

国も嘘をつくとおかしくなってきました。安倍政権も最初から嘘をつき始めていますから、恐いと思います。朝日新聞の 3 月 13 日の記事に、「2013 年の政府予算案一般会計では、予算が 92.6 兆円で税収が 4 年ぶりに借金を上回った」とありました。毎年、税金よりも借金の方が多いわけです。ところが今年は。安倍さんに変わったとたんに借金は内輪に抑えることが出来た。税収が 43 兆円で借金（国債）が 42.8 兆円。僅かでも税収の方が多くなった。景気がこれから良くなるという発信がされています。

これには、嘘をつきなさんな！と思います。これは補正予算が 13.1 兆円（7.8 兆円が借金）であるし、年金のうち 2.6 兆円は消費税で賄うからこの予算からは外しているので、実質の借金は 45.4 兆円です。

国の動きも個人の動きも、同じ人間のやることですから変わりません。国だから、政治家だからといって嘘をついてよいはずがないと思っています。

○ 昨日一日、有難うと言ひ・有難うと言われた方？

○ 昨日一日、良い日だったと思う方？

手が拳がらなかった方の為にお話します。良い日だったと思えない場合、夜寝る時に今日一日振り返って、＜何か良い事はなかったかな＞と、とにかく考えるのです。何でもよいのです。食べたものを思い出して、美味しかったと感じたら幸せです。お客様から良い

話を聞いた。本屋で良い本を見つけた。・・・探せば何か良い事はあるものです。

○ 昨日一日間で健康法を実践した方？

一人、二人手が挙がりませんね。何もしなかったという人は、寝る時に呼吸法をやればよいのです。仰向けになってお腹に手をあてて、はっつと息を吐く。それで健康法を実践したことになります。わざわざ時間を作らなくても、歩く時に少し大股に歩くだけでも良いのです。意識して健康法を実践してください。

ちなみに私は、歩く時に背中が丸まらないように背筋を伸ばして、頭の上から紐で天井に吊られているように意識しています。そうすると、立った時の姿、歩く時の姿が変わります。美しい姿ということでもう一つご紹介すると、心から笑みを作る。女性はこれで全く変わります。もちろん男性も同じです。目に笑みを浮かべられるようになればよろしいでしょう。仏教でいう「顔施」です。

○ 昨夜寝る時に、今日一日誰と会ってどんな約束をしたか、一日を省みた方？

良いと思ったら即、動く

先日、東京フォーラム会員の社会保険労務士さんの主催するセミナーに行っておきました。そこで法政大学教授の坂本光司さんという方が講演をされました。『日本でいちばん大切にしたい会社』（あさ出版）という本をお書きになっています。面白い内容でしたので、ご紹介します。

坂本先生は今まで7000社ほどの会社を回ったのだそうです。そして、<日本に残したい会社>を調べて紹介されていました。私はその中で徳武産業さんという靴屋に興味を持ちました。

徳武産業さんという会社は、もともとは老人ホームで足が思うように動かない方のために、高齢者のための靴を作りたいと考えたのが発端で、お客さんに合わせたパーツ部分のオーダーをとって靴を作っています。靴というのは右左同じ大きさという靴屋さんの常識を変えて、相手に合わせ左右の靴の大きさを変えて売り出したのです。最初は業界から、そんな馬鹿なことをすれば採算割れして潰れるに決まっていると言われ続けて、現時点まで10年間に500万足作ったそうです。

更に面白いのは、サンキューレターという靴を買った人からのお礼の手紙を、1年間に2万通貰うのだそうです。口で「有難う」と言ってもらうのは簡単ですが、人さまから文字にして戴く「有難う」はなかなかもらえません。ですから大変な数字です。社員は59名だそうですから、単純に計算しても一人年間340通のサンキューレターを貰うことになります。そして、毎月1800から2000件の誕生日カードや靴を買ってくれて有難うという手紙を、社員が手作りで書いているのだそうです。

私は外反母趾でなかなか合う靴がないのです。十数年まともな靴屋を探し続けていますが、満足する靴が見つかりません。陽明学は行動の学問ですから、良いと思ったら即、動く。徳武産業さんの本社は香川県の讃岐です。営業所が浅草橋にありましたので、翌日、

そちらに電話をして出かけて行きました。きちんとした会社でした。

ここで我々が学ぶことは、行動の重要性です。良いなと思う話を聞いても翌日には忘れます。覚えていたとしてもせいぜい2、3日、余程強烈な印象があっても1週間です。良い話を聞いたと感じたら、翌日行動することです。行動に移すのは、限度1週間です。そうすれば身体に染み込みます。色々な事を聞いたり読んだりしても、それは知識として増えるけれど自覚には至らない。自覚に至るのは、行動に移した時です。行動に移して実感すれば自分の血肉になり、知恵が湧いてきます。ですから自覚には行動が必要です。

論語解説

【一二】^{びんし} 閔子^{かたわら} 側^じ に持^{ぎんぎんじよ}す。閭閻^{しろう}如^{こうこうじよ}たり。子路^{ぜんゆう} 行^{しこう}行^{かんかんじよ}如^したり。冉有^{たの}・子貢^{ゆうや}、侃侃^{ごと}如^ろたり。子^ろ樂^{しか}しむ。由也^えの若^なきは、其^ろの死^し 然^{しか}る^えを得^えざらんと。

孔子を囲んで、お弟子さん達が和やかに話をしている雰囲気を想像して下さい。

閔子騫が孔子の側において、非常に和らいだ雰囲気でゆったり座っている。子路は顔つきを怒らせて、ぐっと踏ん張っている感じである。冉有や子貢は強直な様子である。孔子はそれを見て、楽しんでいる。

その時、孔子が余計なことを言って子路をからかっています。「お前はそんな顔つきで、そんな態度だから、暈の上では死ねないよ」と。

そして、この予言は的中をします。

【一三】^{ろひと} 魯人^{ちやうふ} 長^{つく}府^{びんしけんい}を為^{きゆうかん}る。閔子騫^よ曰^{これ}く、旧^い貫^いに仍^{なん}らば之^{かなら}を如^{あらた}何^{つく}ぞ必^あずしも改^あめ作^あらんと。子曰^しく、夫^{ひと}の人^い 言^いわず。言^いえば必^{かなら}ず中^{あた}ること有^ありと。

魯の国の役人が長府（金銀財宝を入れる倉庫）を作った。

閔子騫が「昔のやり方で作ったらどうか。何も新しいやり方に替えることはない」と言いました。

それを聞いて孔子が「閔子騫は普段はあまり物事について何も言わないけれど、口を開けば必ず素晴らしい事を言う人間だ」と言いました。

言うべき時に、きちっと正論を言う人だ、と閔子騫を褒めています。

【一四】^し子曰^いく、由^{ゆう}の瑟^{しつ}、奚^{なんす}為^{きゆう}れぞ丘^{もん}の門^{おい}に於^{もんじん}てせんと。門人^{しろう} 子路^{けい}を敬^しせず。子曰^しく、由^{ゆう}や堂^{どう}に升^{のぼ}り。未^{いま}だ室^{しつ}に入^いらざるなりと。

瑟とは二十五弦の楽器です。

孔子が言うには、「子路の瑟の音は、性格通りで荒々しい。どうして私の門下で弾くことができようか。」

孔子が子路のことを茶化すので、お弟子さんたちは何となく子路のことを軽んじました。そこで孔子が言いました。「子路の瑟の腕前は、すでに表座敷に上っている。奥殿に入っていないだけだ。」

子路の腕前はかなりのものだと孔子が褒めています。そして子路が、そうだそうだと頷いている様子が浮かびます。

【一五】子貢問う、師と商とは孰れか賢れると。子曰く、師や過ぎたり。商や及ばずと。曰く、然らば則ち師は愈れるかと。子曰く、過ぎたるは猶及ばざるがごとしと。

子貢が孔子に「子張と子夏はどちらが良いですか」と聞きました。

孔子が「子張は出過ぎる。子夏は引っ込み思案だなあ」と答えました。

更に子貢が聞きました。「ならば子張が勝っているのでしょうか。」

「過ぎたるは猶及ばざるがごとし」・・・どっちもどっちだよと孔子が答えています。

私もあちこち自分では過ぎることが多いと思うので、なるべく謙虚にしなければいけないと反省しながら読みました。

知識を融合させる

新聞を読む時に私は、まず一面の大きなトップ記事、そして一面全体を見て、その次に小さい記事で国内外の動向をさらっと書いてある記事を気にします。テレビ・ネットでは、人物の話の仕方や表情、特に目の動きを意識して見えています。

前回もお話しましたが、尖閣沖のレーダー照射について中国の広報官の会見は、自分たちのやっている内容について重々承知しているけれども言えない、心あることを全部話せないという目の動かし方でした。そういうつもりで目を見ると良いと思います。マスコミの発表するものは、特に目が泳ぐ場合、不安げな目つきをしている場合は、嘘を言っていると思い、注意して御覧になるとよろしいでしょう。

・自公政権の打つ手

民主党政権が誕生した際に、新聞等の読み方・判断基準を三つ申しました。すなわち、民主党の打つ無様な手、国債、自然災害を見てくださいと何度も申し上げました。

自民党が政権をとって変わった判断基準は一つだけです。民主党の打つ手はすべてが無様で、全部が日本の国を悪くすると私は見ましたが、自民党は良い事と悪い事の両方が入っています。ですから自民党の打つ手はよく注視して、自分の判断基準で判断をしていかなければいけないと思います。

大きな流れでは、安倍さんは日本を救う救世主にはなりません。早すぎます。まだ捨石の段階の総理大臣だと思います。安倍さんの打つ手は、良い事と悪い事が混在をします。

我々はそれを見抜いていかなければいけないし、見抜く力をつけなければいけません。そういう意味で、自公政権を打つ手をよく見る必要があります。

・国債

今、国の借金は3,000兆くらいあるのではないかと私は思っています。約1200兆と公表されていますが、会社が倒産すると2倍から3倍の隠れ負債があるものです。国も同じだと思いますので、3000兆円もしくはそれに近い数字があると思っています。

20日には黒田さんという方が日銀の新総裁になりますので、紙幣も国債もじゃぶじゃぶ刷るでしょう。アベノミクスの三本の矢の一つで、日本国中お金をばら撒いて、国債を買わせて、インフレに向かってまっしぐら・・・という政策をとっているわけです。こうなると国債は怖いですね。ある日突然、暴落が起きます。それはいつか。よくよく自公政権のやり方を見ていないと分かりません。ただ、国債を沢山発行してゆくと、ある日突然、一瞬にして紙くずになるという事は十分に起きると思っています。

ですから国債は日本の国がどういう方向に行くかを見るのに、とても良い指標になります。安倍さんと黒田さんが二人して打つ手は、余程注意して見ていかなければならない。従って国債から目を離せません。

国債が日本の中で消化できなくなれば、外国で売る筈です。国外にどういう言い方で売り始めるか・・・。リーマンショックを考えてみて下さい。毒まんじゅうの金融商品を、美味しく包んで売ったわけです。これから国債を日本の中の腐った部分を目くらましをかけて国内外に売るのは、そう遠い日ではないと思います。それが表面化した時には暴落です。暴落した時は、日本の国は一気に落ちていく。そういうふうに国債は見る必要があります。

・自然災害

自然災害については3.11と同じような天災が起きると以前から申し上げています。もう一つ、強毒性の鳥の新型インフルエンザが起きると申し上げましたが、今は見えなくなっています。先週の東京フォーラムで大野参与にお話を聞きました。すでにカンボジアでは鳥の新型インフルエンザで8名が死んでいるそうです。中国では2名死んでいる。ただ、現段階ではこれは大きく報道しません。先程申しました小さい囲み記事にちょこっと出ます。ですから見過ごしてしまいます。

小さな囲み記事を意識して見ていくと、国債の動向と自然災害が見えてくる。そのように新聞をご覧戴きたいと思います。

我々は色々な知識や情報を持ちます。沢山の知識が自分の受け皿に入って、それらを理路整然と分けをすれば、頭の中の整理が出来る。そうやって色々な知識を貯めていくと、頭の端の方に入った知識と反対側にある知識が、途中で融合するのです。融合した時に「悟り」とか「ひらめき」に変わります。ノーベル賞を貰った人たちも同じようなことを言っています。ですから我々は色々な知識を仕入れたなら、それらをきちんと分類整理して頭

の中に納めておく。引き出しを沢山持って、その中にきちんと入れていく。そうするとそれらの知識がどこかで必ず融合します。そうすると次のステージに橋が出来上がり、その橋を渡ると又、新しい世界が出て来ます。

新聞記事・テレビ・ネット、そういう類のものも沢山調べることは良い事ですが、調べたらきちんと頭の中に整理する必要があります。意識的に、時々まとめるようにするとよろしいでしょう。

知識を融合させるという点で、皆様に人間関係を深めるコツを一つご紹介します。私は四季便りという形で、年賀状を年に4回出すと決めていて、今回で105回目になります。10年20年続けると、これで人間関係はうまく続いていくし、深まってきます。すると例えば、この問題は誰に相談したらよいかと思った時に、あの人に聞いてみよう！ という具合になります。その繰り返しで、引き出しがどんどん増えていきます。年賀状を戴いた場合も、単に決まり文句が印刷されているような場合はすぐ処分してしまうのですが、相手が色々発信してくる中身によって、会いたいと思えばこちらから出かけて行ってお会いするようにしています。

新聞記事からみえてくるもの

では、今朝の新聞から気になった事を申します。

・乗客増へ、仕掛け作り

東急東横線とメトロ副都心線が直通運転になるという記事（日経新聞）です。この記事を読んで頭に浮かんだのは、九段下駅の「バカの壁」が取り外されたというニュースです。今まで九段下駅は、都営線と営団線の乗り換えに大回りをしなければいけなかった。これに対して石原慎太郎さんが、「乗客のために考えて、ホームの壁を取っ払う努力をなぜやらないのか」と言い続けていました。猪瀬都知事になった途端に、壁が取り払われて同じホームで移動できるようになりました。

一つのテーマ「乗客増へ、仕掛け作り」という記事から見えてくるものは、猪瀬都政が石原都政のやり方を継承しているということの一つの裏付けになっているということが分かる。それから、当然乗客増になるだろうから、各鉄道各社がこれからどのような路線をとっていくかが見えてきます。例えば今までは駅の中に飲食店や本屋等々の店を作りましたが、それも飽和状態になりました。その次の動きが始まっています。ということは、大きな時代の流れとして、都心は変わって来るぞ！という感じがします。更に、オリンピック招致にはコンパクトな会場設営が必要ですから、こういうものを活用して、オリンピック招致を加速する動きが見えてきます。他にも、各交通機関も変わって来るでしょうし、当然人身事故等も増えるでしょうから、警備会社の感覚で言えば仕事が増える。・・・どんどん連想が広がります。

一つの記事を見て、自分の知識が広がっていれば広がっているほど色々な網の目が繋がって、自分自身に繋がるものが見えてきます。それによって自分の行動が見える。

ミクロでの動きと、マクロの動き（日本全体の動き・世界全体の動き）が見えてくる。・・・一つの記事をもとにして、そういう見方をされるとよろしいでしょう。

・ T P P 交渉参加

T P P に関して、参加を表明した安倍さんの顔写真が載っていました。まるで病人の顔に見えました。この人は又、政権を投げ出すのではないかと感じます。まだ、病気は治っていないのですから。別の新聞記事を見ると、安倍首相が予算委員会の最中にトイレにたびたび中座するので、野党から首相が閣僚席を離れる際は審議を止めるよう要請が出ている、とあります。安倍さんはトイレに行って吸入しているのでしょうか。一回吸入するのに10分くらいかかるそうで、奥様が非常にそれを気にしているという記事もありました。

色々な記事を寄せ集めて見た結果、安倍さんは政権を放り出すのではないか、危ないのではないかと連想致しました。病人の顔を必死にごまかしてテレビ出演していましたが、相当厚化粧をしています。もしトップが変わると、ガラガラっと今の枠組みは崩れます。日本の景気もまっすぐ下降を始める。

このように一つの記事、首相の顔写真を見て、そこから色々なものを連想させていくとよろしい。

・ 突然の賃上げムード

今、アベノミクスで一所懸命賃上げ・賃上げとやっていますが、大半の大企業はカヤの外、電気ではパイオニアは定昇の半年延期と一時金の減額で組合と合意、富士通は定期昇給延期を組合に申し入れた、パナソニックは賃金カットに向けた労使協議に入る・・・等々書いてあります。

賃上げムードだけ大きく報道しますが、減らすというのは小さな記事になる。これは海江田さんの民主党潰しですね。支持母体の力を無くすためにこういう動きも結構ある・・・というような内容が書いてあります。

ですから報道の背後にあるものは何か、どういう思惑で書かせているのか考えなければいけません。自分が読んだ他の報道と照らし合わせるというよりは、理路整然ときちんとした形で頭の中に収まっていれば、おやっと思えます。おやっと思った時に、もう一度調べ直しをする。調べ直しをして、まだピンと来なければ専門家に確認をする。そういう動きをすると、心の中ではっとひらめきます。そうなれば自分自身の血肉になります。そして次に判断基準が出てきます。

お時間になりました。本日はこれにて終了させて戴きます。